



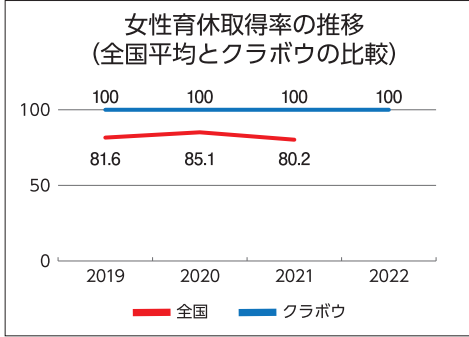
育児と仕事を両立する社員（ママ編）

前号ではパパ編を紹介しましたが、今回は、女性育休取得の現状と、クラブウで仕事と育児を両立する社員をご紹介します！

女性の育休取得率

全国の女性育休取得率は10年以上にわたって80%台の横ばいとなっています。

雇用均等基本調査（厚労省）
※2022年全国平均は未発表のため記載無し



次世代育成支援のためのクラブウ行動計画(第8次)

クラブウでは、仕事と子育ての両立支援のため、2023年4月1日～2025年3月31日

の2年間の行動計画を策定しています。

本計画の中で、女性の育休取得率については次のとおり目標を定めています。

《目標》育休休職の取得率を90%以上とする。

※クラブウでは、2019年以降女性の育休取得率が100%となつていますが、「女性は必ず育休休職を取得する」ということではなく、一人一人の多様な選択を残すために目標を100%でなく、90%としています。

職場にはパパ・ママ社員だけでなく、介護、病氣治療等さまざまな状況にある社員がいます。「支える人」「支えられる人」と分けるのではなく、みんなで支えあう「お互いさま」の文化のある職場風土を作っていきましょう。
（人材開発課 河村 僚子 記）

クラブウの産前産後休暇 女性の育児休職制度

おさらい



■産前産後休暇

- 産前休暇
 - ・出産予定日の8週間前から取得可能
 - ・多胎妊娠の場合は、14週間前から取得可能
 - ・産前休暇取得は義務ではなく、この期間の年次有給休暇取得も可能
- 産後休暇
 - ・出産日から8週間取得可能（原則就業不可）
 - ・産後6週間を経過したときに本人が就業を願い出て、医師がさしつかえないと認める業務に就くときは、就業可能

■育児休職

子が1歳に達するまで取得可能

- ・夫婦共に分割して2回まで取得可能
- ・父母共に取得する場合は、1歳2カ月まで延長可能
- ・保育所に入所できなかった等の特別な事情がある場合は、最長で子が2歳に達するまで延長可能

※その他、育児時短勤務・子の看護休暇等各種育児支援制度が利用可能です。もっと詳細を知りたいという方は、イントラネットに掲載の「制度活用ハンドブック」や「動画」をご覧ください。



※詳細は人事課または各事業所総務課にお問い合わせください。

マザーリング・カレッジのご紹介

NPO法人ファザーリング・ジャパンが主催するマザーリング・カレッジ。毎年申込時期になりましたらイントラネット等でご案内いたしますので、ぜひご参加ください！ ※2024年度(第9期)の募集は終了しました。

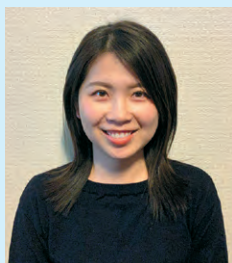
■マザーリング・カレッジとは？

自分で働き方や家族のあり方をデザインしながら、仕事で最大のパフォーマンスを目指しつつ、人生も楽しむ！そんな女性を応援する全オンライン開催の連続講座です。

《第9期講座内容》

キャリアを重ねていくために/チームわが家で考えるライフキャリアデザイン/働くママだからこそ押さえてい子どもとの向き合い方/育休復帰後の着実なキャリア形成のために/イクボスとしての女性管理職を目指すために

……  育休取得社員紹介  ……



よしむら あや
吉村 彩さん

(東京支社 化成品営業部 建築資材課)

家族構成：夫、子1人（2歳）

育休取得期間

2021年12月5日～2023年4月8日（1年4カ月3日）



・育休を取得する際に、職場で気を付けたこと

通勤時に気分が悪くなり出社が遅れてしまうこともあったので、上司には妊娠初期の段階で報告しました。また、産休・育休で長期のお休みをいただくことになるので、年間の自分の仕事内容をまとめて、誰に引き継いでいくか事前に上司に相談しました。

・会社の育児支援制度を活用してよかったこと

育児短時間勤務やフレックスタイム制度のおかげで、保育園の送り迎えの時間に間に合いますし、朝の子どもの準備がスムーズにいかない時に助かっています。

・育休取得後のご自身の変化

育休取得前は、基本的に自分の思うように時間を使っていましたが、子どもが生まれると急なお迎えや休みをいただくこともあり、周りへの迷惑を最小限にするために前もってできる仕事は終わらせておくことを意識しています。時間が足りないことが多いので、常に仕事の優先順位を考えています。

・育児と仕事の両立で、楽しい点、苦労している点

保育園に迎えに行ったときの息子の笑顔を見ると疲れが吹っ飛びます。保育園からの連絡帳でその日の出来事を写真付きで教えてくれますが、小さいながらも、いろいろなことに挑戦したり、興味を持ったり、時にはお友達とぶつかって泣いてしまったり、日々成長していて、私も私の場所で頑張らないと！と励まされます。


苦労している点は、仕事・育児・家事で1日の時間が足りないことです。「今日もこれができなかった…」ということが多いです。また、会社の方とちょっとご飯に行きたいと思うときがあっても、なかなか行ける機会がなく、コミュニケーション不足だなと感じてしまいます。

・育児と仕事の両立で、工夫していること

子どもという時は仕事のことは考えないことです。あとは、出来る限り心に余裕を持てるように、早め早めの行動をすること、好きなものは好きなだけ食べること、眠たい時は家事をおいといて寝ることなど、完璧を求めず自身にストレスをかけないようにしています。

・育休取得前・復職後に周りからの協力や言葉でうれしかったこと

妊娠を伝えた時に、おめでとうと、たくさんの方に言ってもらえたことが本当にうれしかったです。上司と同僚の方が安産祈願に行った動画を送ってくださったり、課の方・工場の方・客先の方が安産祈願のお守り&お手紙をくださったりと、優しさに心が温まりました。また業務を引き継ぐことで仕事が増えてしまうにも関わらず、いやな顔をせず「大丈夫！大丈夫！出産頑張れ！」とってくださいり周りの方の協力に救われました。復帰してからも、帰る時間になると「もう時間やで！」とってくださいたり、「これやっとくよ～」と助けていただいたりしています。

育休中の1日のスケジュール 

7:00	起床・授乳	
8:00	朝寝	
10:00	おもちゃで遊んだり、ベビーカーで散歩したり	
13:00	昼食・授乳	
13:30	昼寝	
15:30	授乳	
16:30	お風呂	
18:30	授乳・夕食	
19:00	寝かしつけ	
20:00	片付け・家事	





まきの ことみ
牧野 琴未さん

(安城工場 織布課)

家族構成：夫、子1人（2歳）

育休取得期間

2021年8月16日～2023年4月13日（1年7カ月28日）



・育休を取得する際に、職場で気を付けたこと

同じ業務内容のメンバーが複数いる環境でしたので、特段引き継ぎ事項などはありませんでしたが、もともと人員が少ないので、現場に迷惑がかからないよう、早い段階で、育休を取ること（出産予定があること）を報告しました。

・育児・家事における分担等の家族のルール

夫婦の中でとくに分担はなく、手が空いている時にお互いで協力しながら家事などをしています。ただ、妊娠中お腹が大きくなったころからは、風呂掃除は夫の専門分野となったので、出産後も任せきっています。（笑）

・会社の育児支援制度を活用してよかったこと

産休・育休をしっかり取得させていただいたので、仕事のことを心配することなく、育児に専念できました。

・育休取得後のご自身の変化

子どもの急な発病などでお休みをいただくことも多く、周りの方に迷惑をかけることがあります。そのため、出社し仕事をする際には、人一倍頑張って仕事をしようと思うようになりました。

・育児と仕事の両立で、楽しい点、苦労している点

子どもが保育園に通っているのですが、保育園で頑張っている子どもに負けないぞ！という気持ちで仕事を頑張ることができています。

また、子どもが話せるようになり、保育園での1日の様子を子どもから聞くのが毎日の楽しみです。仕事の日の朝はどうしても保育園や自分自身の準備もあり、工場の始業時間に間に合うかバタバタすることが多いので苦労しています。

・育児と仕事の両立で、工夫していること

育児も仕事もほどよく頑張る（負い過ぎない）ように心がけながら取り組んでいます。

また、職場内に先輩ママさんもいるので困りごとがあった時などは、相談するよう心がけています。

育休中の1日のスケジュール



6:00	起床・授乳	
6:30	朝食準備・朝食・片付け	
9:00	部屋の掃除など	
10:00	子どもと公園などへお出かけ	
11:30	昼食準備・昼食	
13:00	昼寝	
16:00	お風呂	
18:00	夕食	
19:00	就寝	

※子どもの起床時間に合わせて、早朝型の生活を送っていました！



・育休取得前・復職後に周りからの協力や言葉でうれしかったこと

所属部署の皆さんが出産前から気遣ってくれ、ありがたく、うれしかったです。またお休みをいただくことを理解してくださり、子どもの発病時など「しょうがないよ！」と言っただけなので、気持ち的にも大変助かっています。



たまき あやか
玉置 彩香さん

(三重工場 製造課)

家族構成：夫、子2人（5歳、1歳）

育休取得期間

2018年9月24日～2019年7月21日（9カ月27日）

2022年6月7日～2023年4月10日（10カ月3日）



・育休を取得する際に、職場で気を付けたこと

妊娠がわかったと同時に上司と同僚へ報告し、早い時期から引き継ぎをさせてもらいました。少しでも引き継ぎがスムーズにできるように、マニュアル作成などを行いました。

・育児・家事における分担等の家族のルール

基本的に家事育児の分担はしていません。夫は朝早く仕事に行き、子どもたちが寝る前くらいに帰ってくるので、あまり頼りませんが、休日家にいる時や、仕事から早く帰ってきた日は、積極的に家事育児をしてくれるので助かっています。

・会社の育児支援制度を活用してよかったこと

今は時短勤務をさせていただいています。フレックスタイムを活用し、子どもを病院へ連れて行ったりできるので無理なく仕事を続けられています。

・育休取得後のご自身の変化

子どもの急な病気でお休みをさせていただく日が増えたため、あまり仕事をため込まないことを心掛けています。夫の帰りが遅いということもあり、子どもが生まれてからは残業ができなくなったため、普段から効率を考えながら業務を行うようになりました。

・育児と仕事の両立で、楽しい点、苦労している点

子どもたちのことは大好きですが、1日中一緒にいると、イライラしてしまうことがあります、、。仕事と育児・家事を両立することは体力面では大変ですが、仕事をする事で子どもたちと離れる時間ができるので、その分、帰宅後は優しくできる気がします。

・育児と仕事の両立で、工夫していること

買い物は週末にまとめ買いをし、お肉や野菜は処理をして冷凍しています。なので平日は基本的に買い物に行きません。お掃除ロボットを活用したり、ドラム式洗濯機で乾燥までしたりする等、頼れるものは頼っています。

・育休取得前・復職後に周りからの協力や言葉でうれしかったこと

復職したばかりの時は子どもが立て続けに熱を出し、休ませてもらう日が多く申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、そんな時も上司や同僚は子どもの体調を心配してくださったりして、うれしかったです。私の終業時間が迫ってきて仕事を立て込んでいたりすると、同僚が「時間大丈夫ですか？」と気にかけてくれたり、土曜日や祝日の出勤日は、両親に子どもたちを預かってもらったり、周りの方々に助けられて仕事が続けられていることを日々感謝しています。

育休中の1日のスケジュール



5:00～5:30 起床
(上の子が早起き…)

6:00 朝食準備・朝食 

7:00 洗濯

8:30 上の子を保育園へ送る

9:30～15:00 フリータイム
掃除や夕食準備、
離乳食のストック作り
(余裕があれば下の子
と一緒に昼寝)



16:00 上の子を保育園にお迎え

18:00 夕食 

19:00 お風呂

20:00 子どもの寝かしつけ
パパ帰宅

21:00 洗濯 

22:30 就寝

